

事業所名		ひまわり（放課後等デイサービス）				支援プログラム		作成日		令和6	年	11	月	5	日
法人（事業所）理念		障がいのある子が安心して暮らしていける仕組みをつくり、保護者が安心して預けられる事業所運営に取り組む。福祉サービスの質をより高め充実した活動を進めるように努める。													
支援方針		五つの“感”（「感謝」、「感動」、「感心」、「共感」、「感受性」）を大切にした支援に努め、一人ひとりの持てる力を見極め、引き出し、伸ばせるよう関わります。家庭的な温かい雰囲気作りを心掛け、通所が楽しみに、また保護者が安心して預けられる事業所を目指します。													
営業時間			8	時	30	分から	16	時	30	分まで	送迎実施の有無		なし（要相談）		
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・通所時における健康状態の把握、意思表示が困難である子どもの障がい特性及び発達の過程・特性等に配慮し、子どもの小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細やかな観察を行います。 ・睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムが整えられるよう支援します。 ・喀痰吸引等安全な医療行為の実施に努めます。													
	運動・感覚	・理学療法士や保護者の指導を受け、身体機能の維持・向上に努めます。 ・運動遊び、製作、おとの広場（音楽療法）を通して、様々な体の感覚・感触に触れ、感覚の成長を促します。													
	認知・行動	・製作を通して色の違いや様々な物の形を習得できるよう内容を工夫し、知ることが「楽しい」と感じられるよう関わります。													
	言語 コミュニケーション	・具体的な物事や体験と言葉の意味を結びつけられるよう、多くの声かけをしながら関わります。 ・コミュニケーション手段として、言葉だけでなく、ジャスチャーや絵カード等子どもに合った方法を考え支援します。													
	人間関係 社会性	・気持ちの受容・好きな遊びや関わりを通して、家族以外の人でも安定した関係を形成できるよう支援します。 ・第二佐久コスモスワークスの利用者との交流等、様々な社会体験を積むことで生活の幅が広がるように努めます。													
家族支援		・保護者と本人の様子を共有し、一緒に成長を見守っていきます。 ・保護者の不安事や悩みを気軽に話してもらえるような信頼関係の構築に努め、一緒に解決策を考えていきます。							移行支援		・支援会議を通して学校や他事業所での様子を共有し、ひまわりでの支援に活かしていきます。				
地域支援・地域連携		・相談支援専門員をはじめ、医療的ケア児等コーディネーター、保健師等と連携し、本人と家族が安心して生活できる支援方法や環境調整等を考えていきます。							職員の質の向上		・障がい児担当保育士研修、強度行動障がい者支援者養成研修等の外部研修への参加。 ・虐待防止（身体拘束）に関する研修、事故、苦情等の対応に関する研修等内部研修の実施。				
主な行事等		節分、ひな祭り、七夕祭り、プール活動、クリスマス会、望年会													